

週間漁海況情報—第16号

平成23年4月18日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.4.18)を示した。

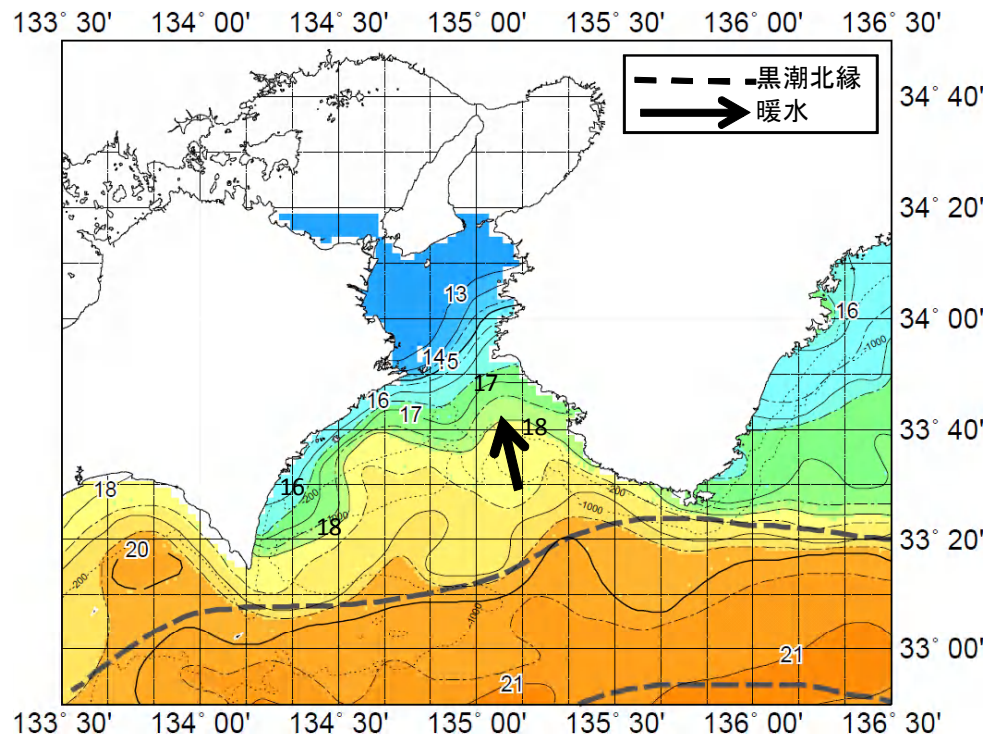
黒潮は、室戸岬でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～21℃台である。

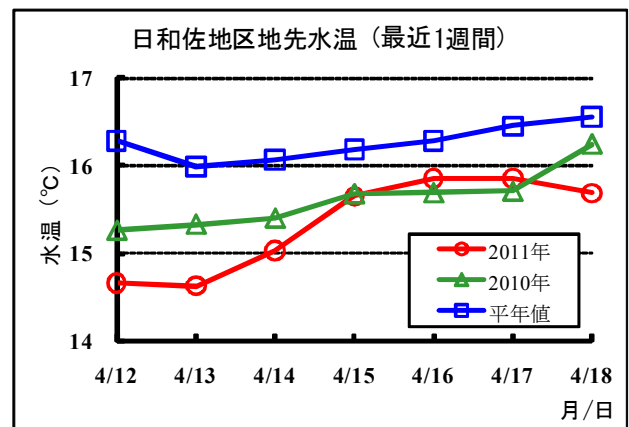
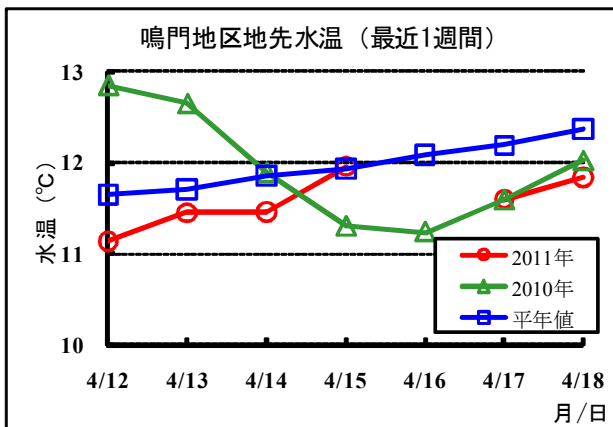
徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11～12℃台、紀伊水道で12～16℃台、海部沿岸で14～17℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県側で18℃台の黒潮系暖水が流入しており、その先端は紀伊水道内に達している。海部沿岸では、岸よりで下り潮になっており、16℃以下の内海系水に広く覆われている。

内海系水と黒潮系暖水との潮境は、蒲生田岬付近から和歌山県田辺沖にかけて確認できる。



地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の11.1～12.0℃、日和佐地区で「低め」～「平年並み」の14.6～15.9℃、牟岐地区は「低め」～「やや高め」の14.5～16.6℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

2. 海況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.2トン（1日1隻当たり18kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、ブリが0.8トン（同17kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.3トン（同23kg）、キビナゴが0.7トン（同81kg）、小小主体にサバ類が1.9トン（同42kg）、小主体にマアジが1.4トン（同48kg）、マイワシが3.1トン（同154kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.7トン（同60kg）、クロマグロが0.3トン（同31kg）、小主体にスルメイカが0.4トン（同41kg）、ブリが5.3トン（同484kg）、メジロが2.5トン（同223kg）、中主体にハマチが3.3トン（同297kg）、特大・大主体にマアジが1.2トン（同111kg）、中主体にマダイが0.4トン（同39kg）、マルソウダが1.0トン（同88kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大・中主体にタチウオが0.2トン（同34kg）、メジロが0.4トン（同9kg）、ハマチが0.3トン（同13kg）、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.6トン（同39kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 4月11日～4月17日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	12	219	18	大主体
建網		ブリ	49	834	17	
小型定置網		アオリイカ	12	275	23	
		キビナゴ	9	729	81	
		サバ類	45	1,894	42	小小主体
		マアジ	29	1,392	48	小主体
		マイワシ	20	3,079	154	
大型定置網		アオリイカ	11	663	60	大主体
		クロマグロ	11	337	31	
		スルメイカ	11	446	41	小主体
		ブリ	11	5,328	484	
		メジロ	11	2,455	223	
		ハマチ	11	3,272	297	中主体
		マアジ	11	1,218	111	特大・大主体
	マダイ	11	429	39	中主体	
釣り	海部沿岸	マルソウダ	11	973	88	
		タチウオ	7	238	34	大・中主体
		メジロ	45	405	9	
		ハマチ	21	277	13	
	紀伊水道	タチウオ	15	583	39	特大主体

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の11～12℃台、日和佐地先は「平年並み」の15～16℃台前半で推移する見込み。